

地域包括ケア「見える化」システムを活用した 海南省介護保険事業の現状分析

(令和3年1月時点)

地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

地域包括ケア「見える化」システムの主な目的は、以下のとおりです。

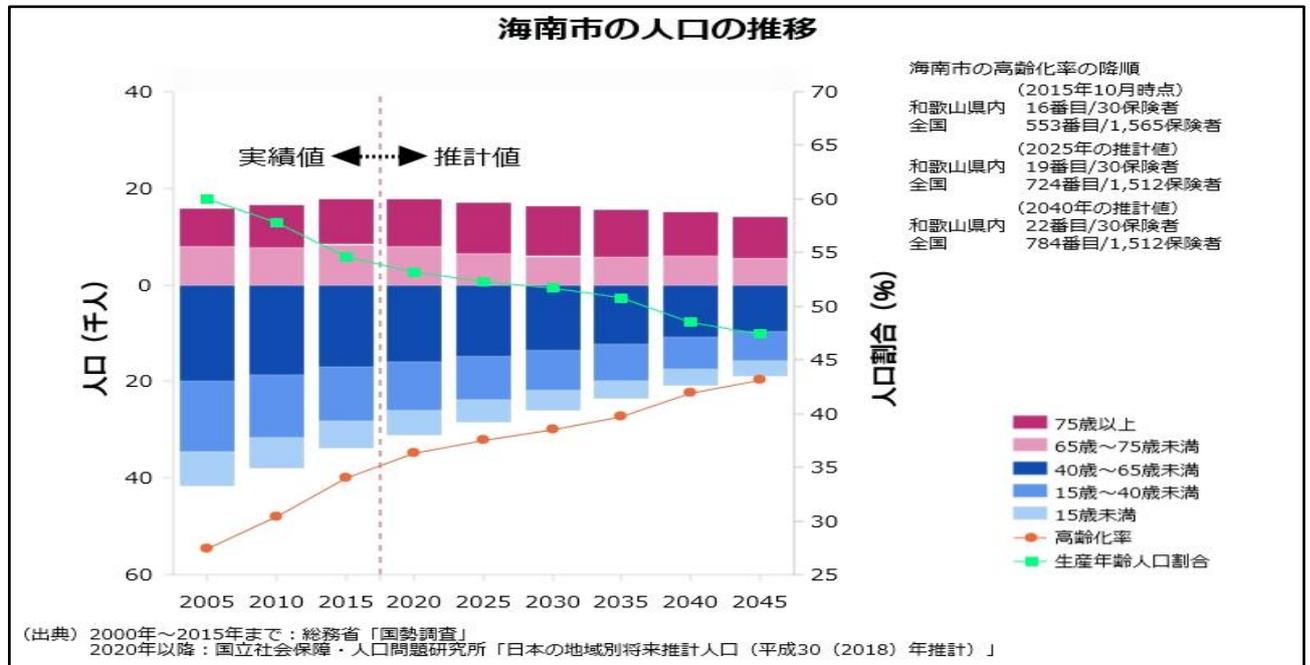
- 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする
- 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする
- 都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる

目次

1. 人口の推移	1 ページ
2. 高齢化率	1 ページ
3. 高齢者を含む世帯の割合	2 ページ
4. 高齢独居世帯の割合	2 ページ
5. 高齢夫婦世帯の割合	3 ページ
6. 調整済み認定率（他市比較）	3 ページ
7. 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布	4 ページ
8. 受給率（サービス系列別、要介護度別）	4 ページ
9. 調整済み第1号被保険者あたり給付月額（サービス系列別）	6 ページ
10. 週1回以上の通いの場の参加率	6 ページ
11. 海南省の現状分析と要因	7 ページ

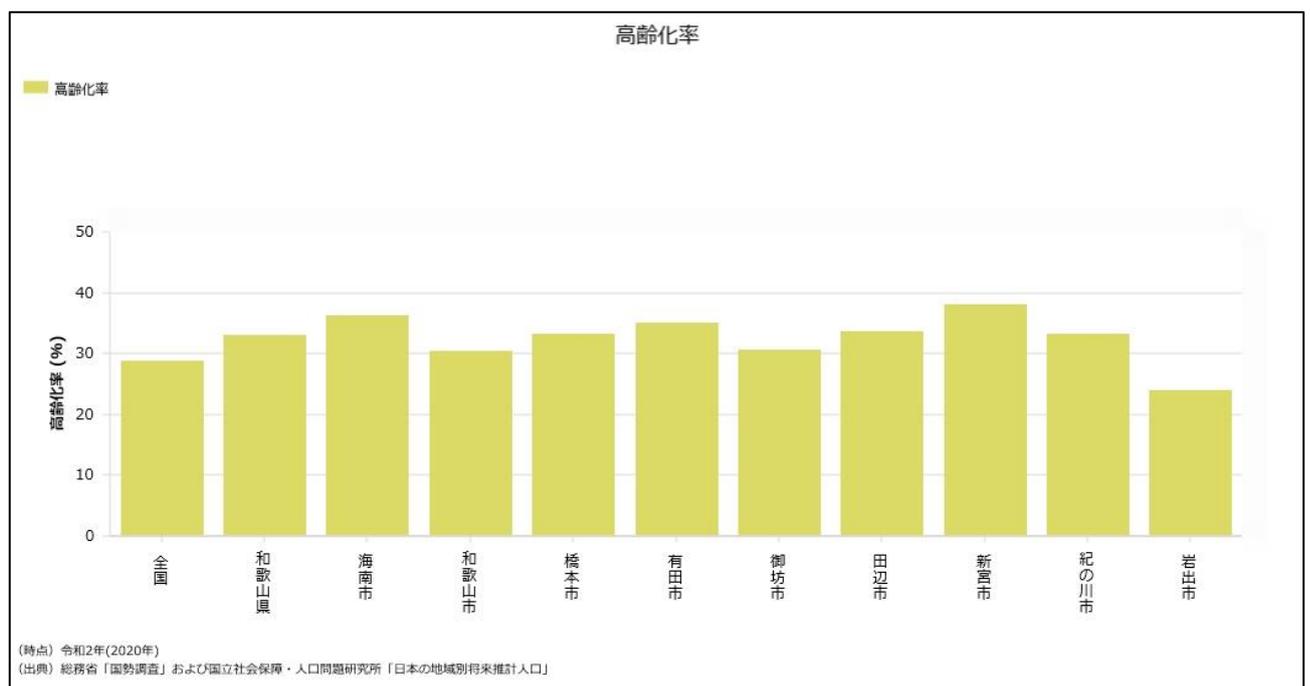
1. 人口の推移

海南市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、2025年に45,571人、2040年に36,057人になると推計されています。また、高齢化率は今後も上昇を続け、65歳以上の人口は減少となる見込みです。



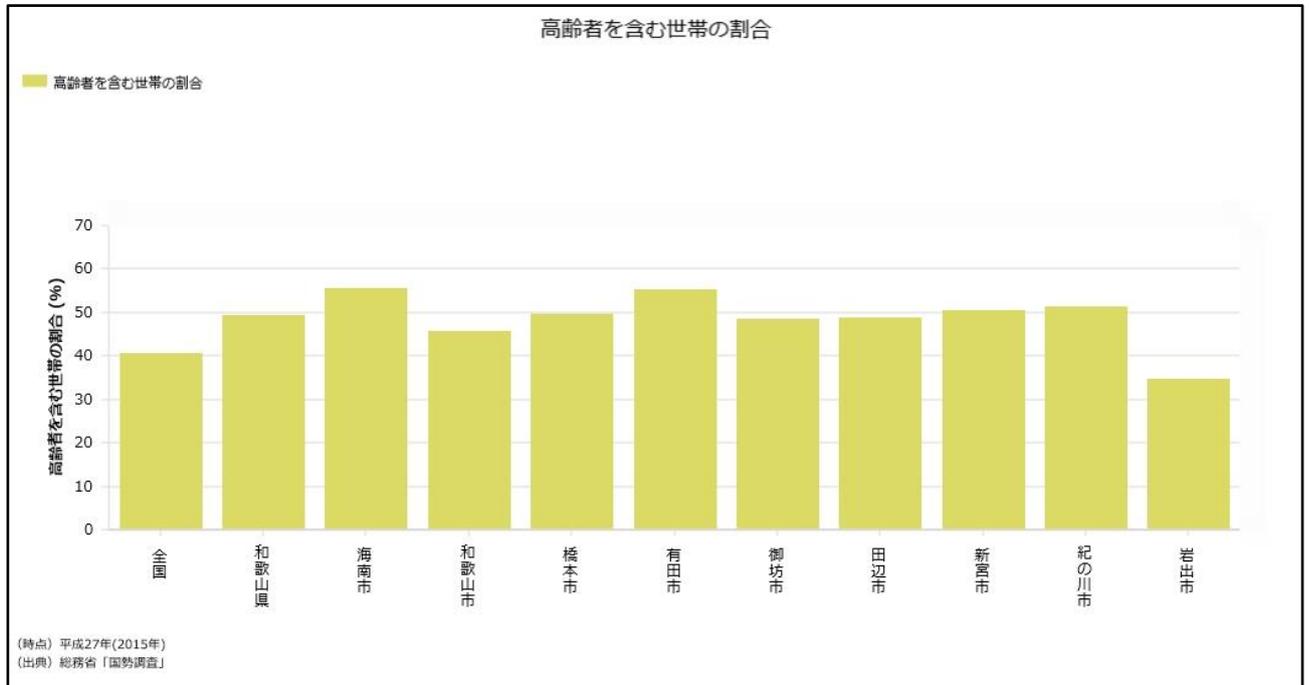
2. 高齢化率

海南市の令和2年の高齢化率は36.3%で、全国の高齢化率の26.7%、和歌山県の高齢化率の30.7%を上回り、和歌山県下9市の中で新宮市に次いで2番目に高い値となっています。



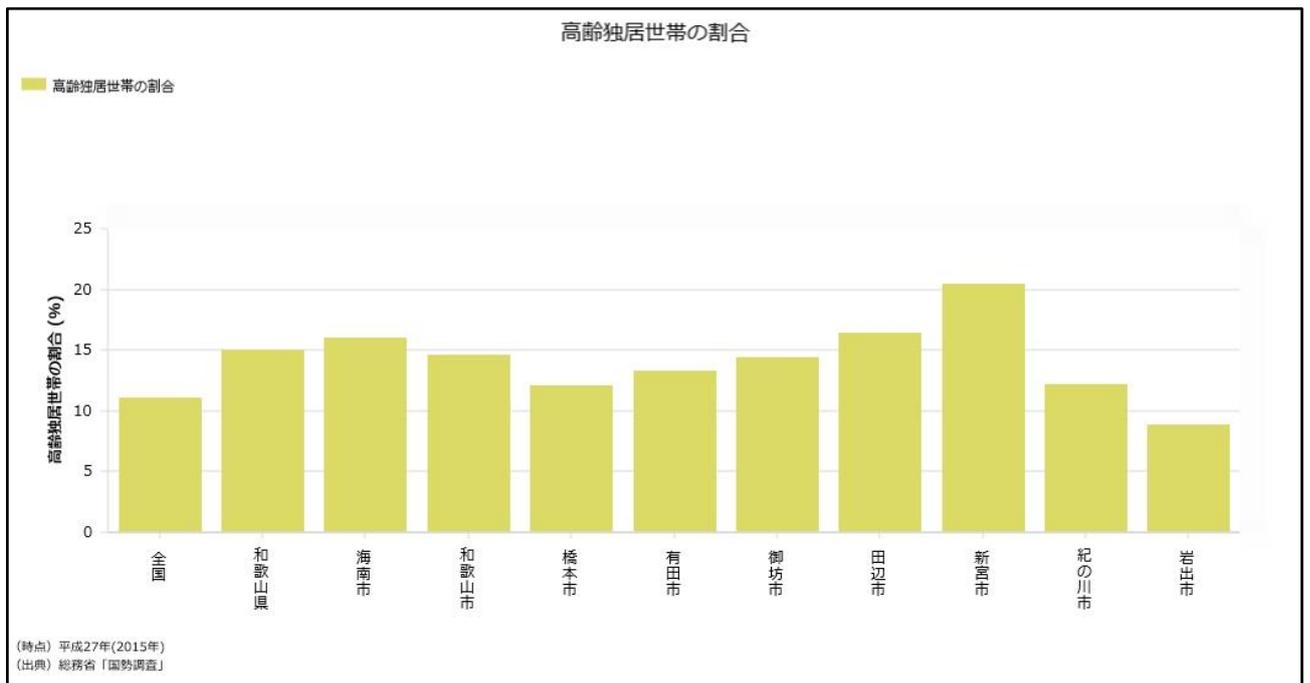
3. 高齢者を含む世帯の割合

海南市の平成27年の高齢者を含む世帯の割合は55.6%で、全国の割合40.7%、和歌山県の割合49.5%を上回り、和歌山県下9市の中で最も高い値となっています。



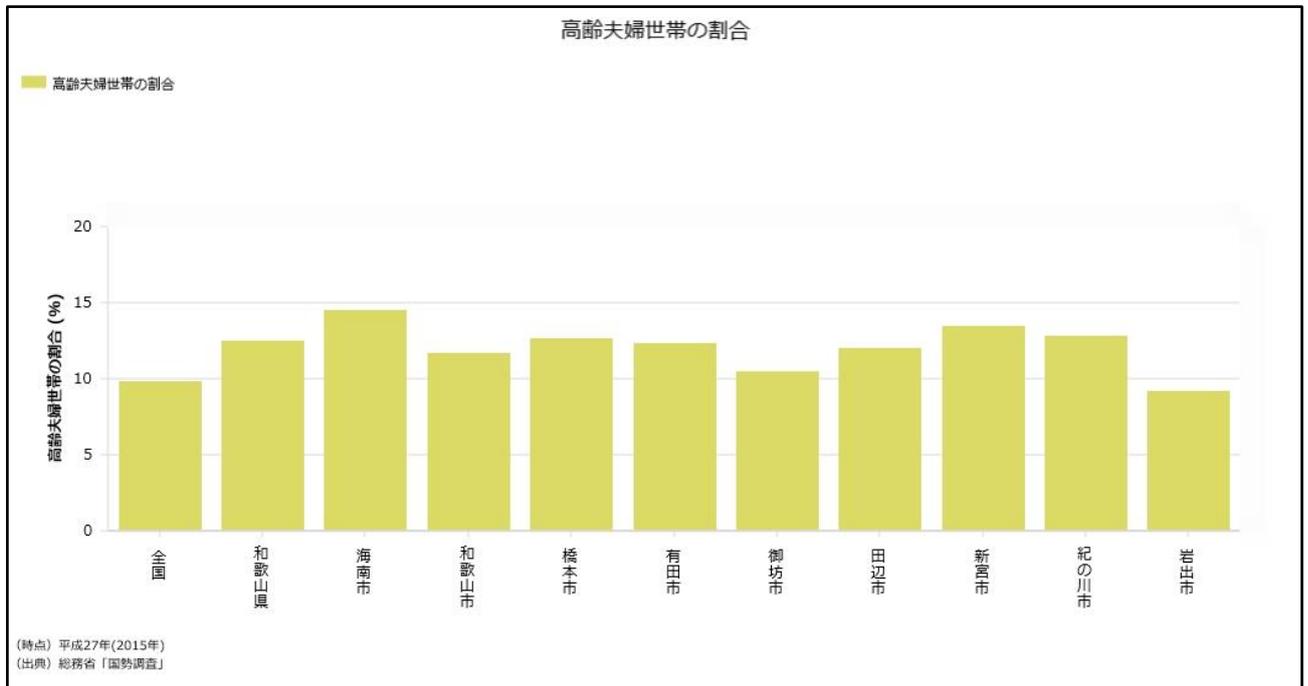
4. 高齢独居世帯の割合

海南市の平成27年の高齢独居世帯の割合は16.0%で、全国の割合11.1%、和歌山県の割合15.0%を上回り、和歌山県下9市の中で新宮市、田辺市に次いで3番目に高い値となっています。



5. 高齢夫婦世帯の割合

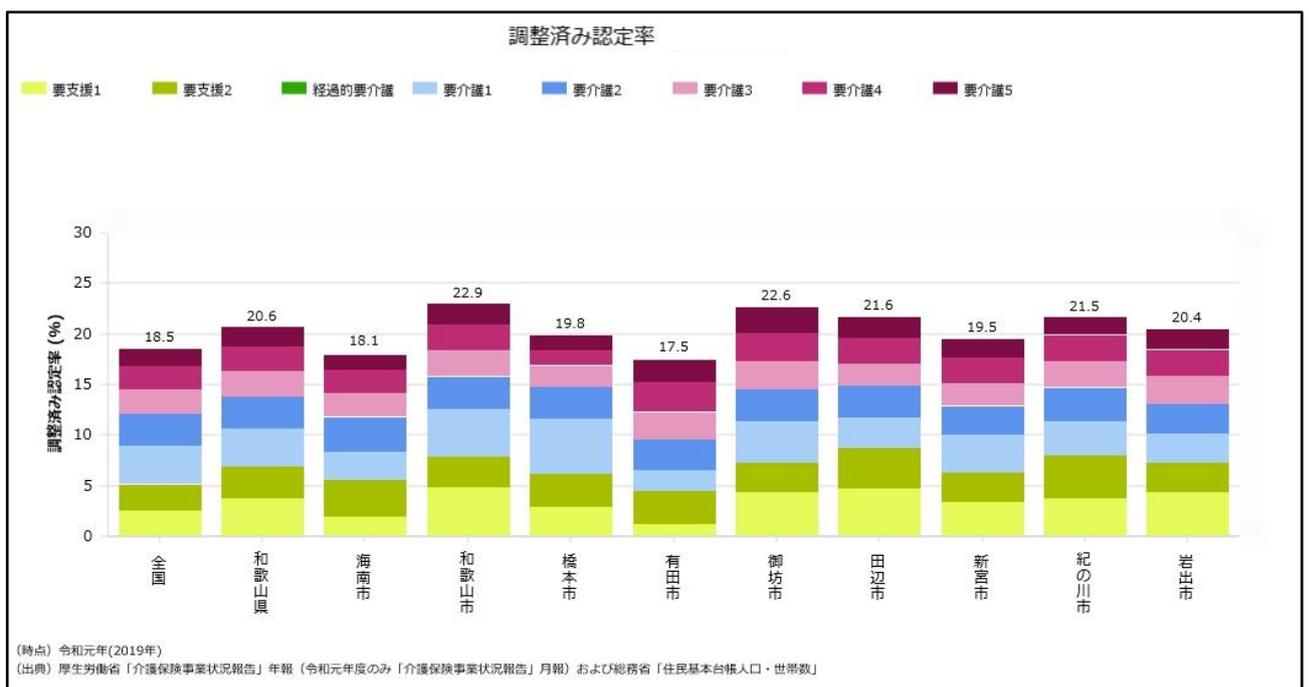
海南市の平成27年の高齢夫婦世帯の割合は14.5%で、全国の割合9.8%、和歌山県の割合12.5%を上回り、和歌山県下9市の中で最も高い値となっています。



6. 調整済み認定率

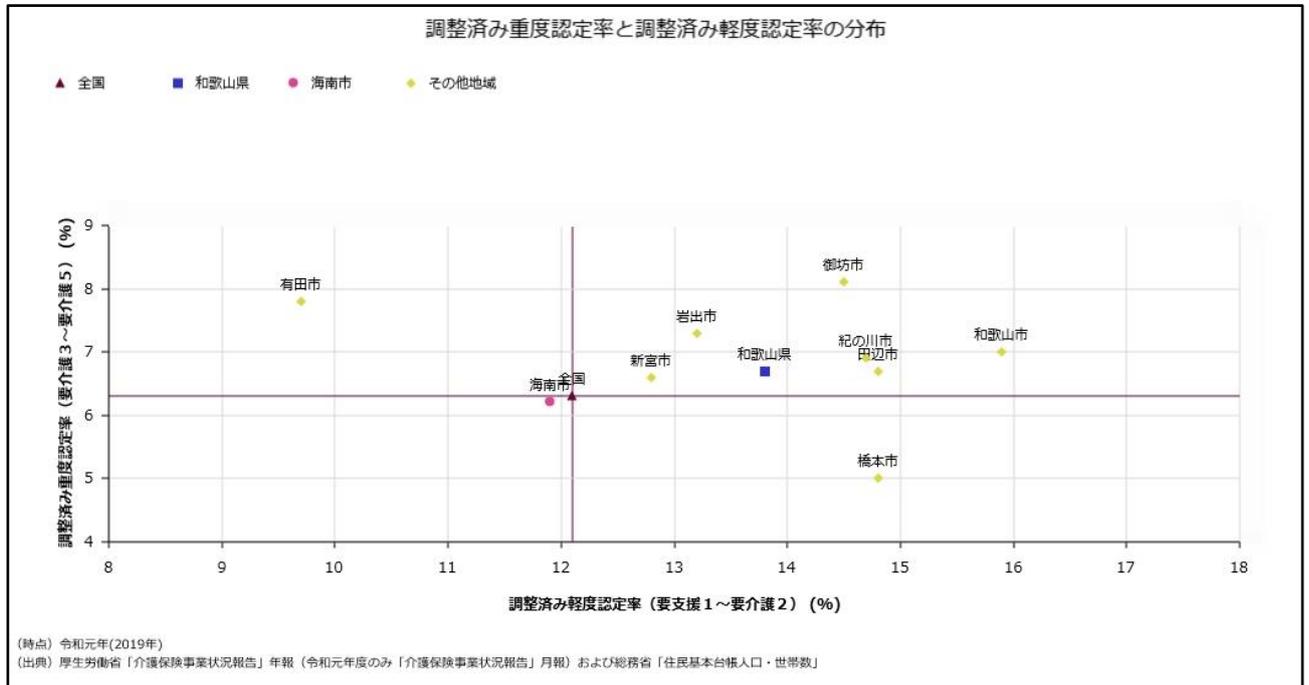
海南市の令和元年の調整済み認定率は18.1%で、全国の割合18.5%、和歌山県の割合20.6%を下回り、和歌山県下9市の中で有田市に次いで低い値となっています。

※調整済み認定率：認定率の大小に大きな影響を及ぼす、第1号被保険者の性・年齢別人口構成の影響を除外した認定率のこと



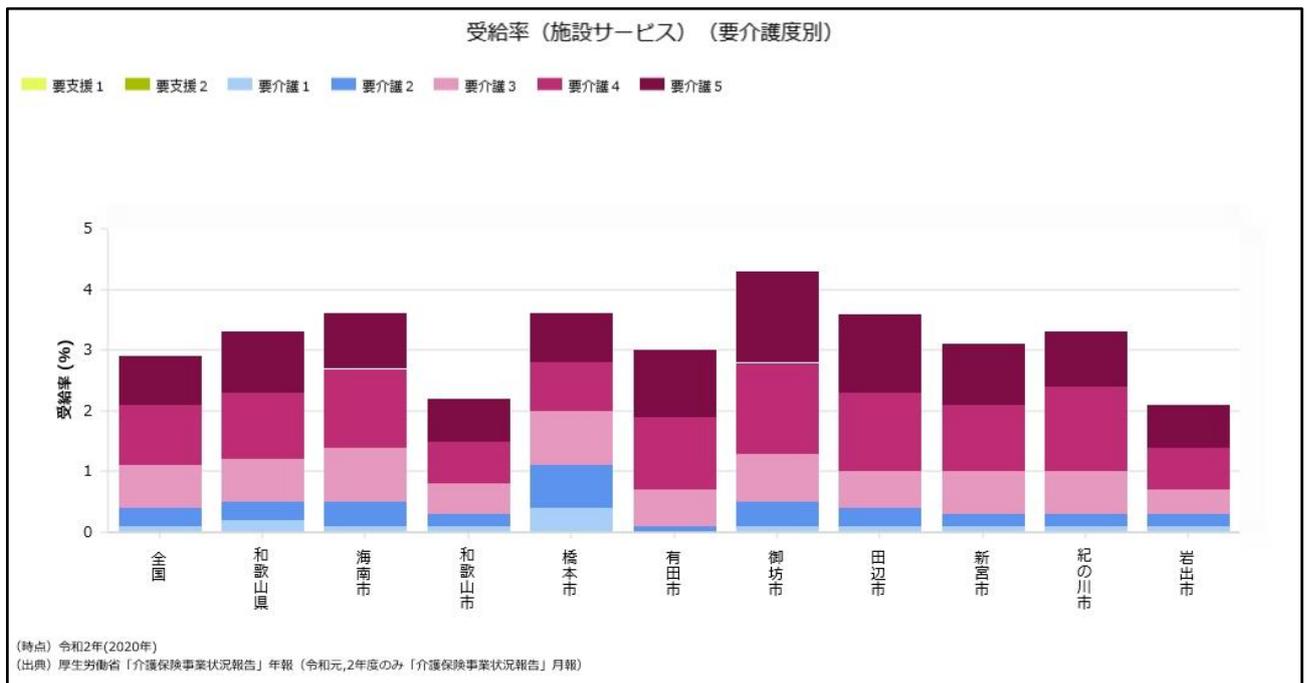
7. 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布

調整済み重度認定率及び軽度認定率は、いずれも全国平均並みとなっており、和歌山県下9市の中では、重度は橋本市に次いで2番目に低く、軽度は有田市に次いで2番目に低い値となっています。

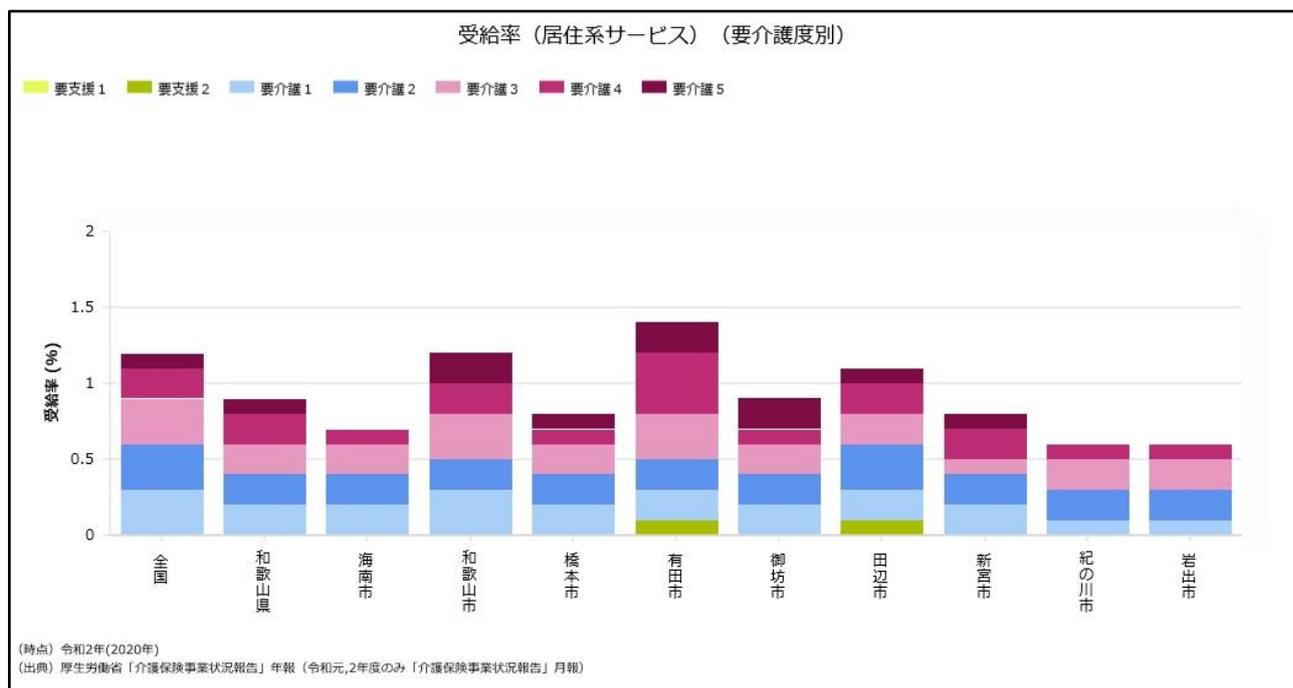


8. 受給率（サービス系列別、要介護度別）

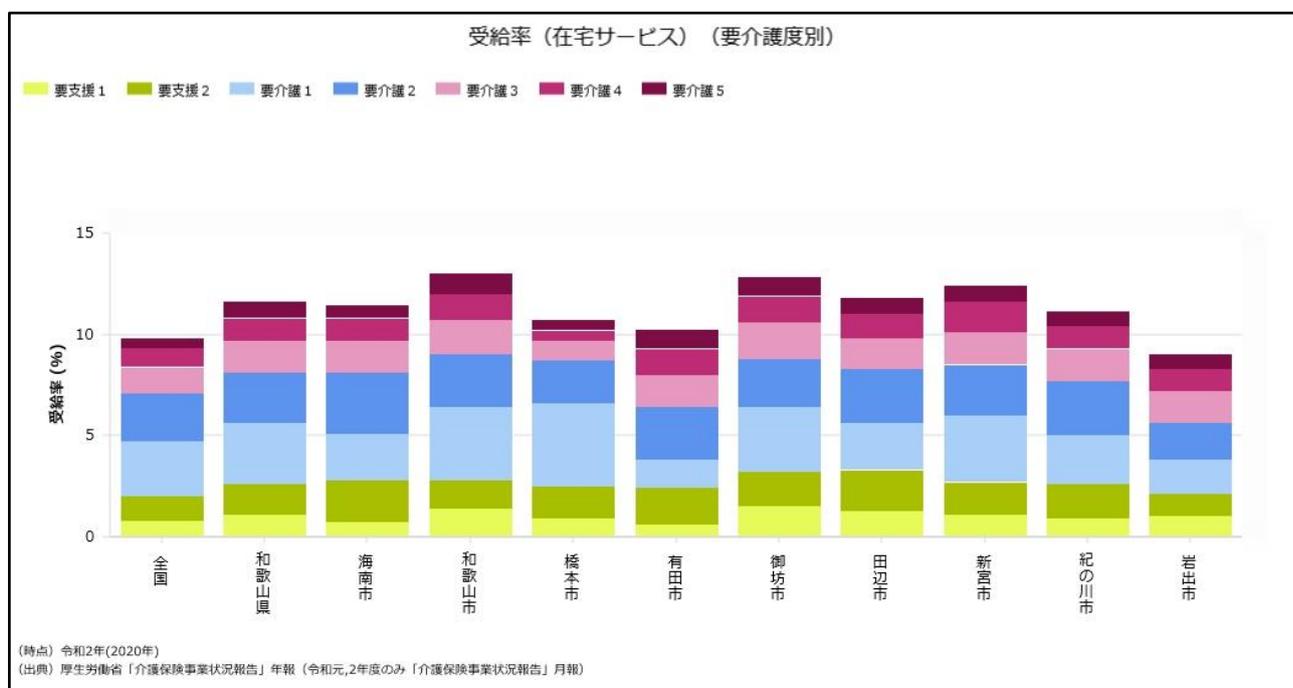
海南市の令和2年の施設サービス受給率は、全国及び和歌山県の割合を上回っており、県下9市中でも比較的高い値となっています。



居住系サービス受給率は、全国及び和歌山県の割合を下回っており、県下9市の中でも比較的低い値となっています。

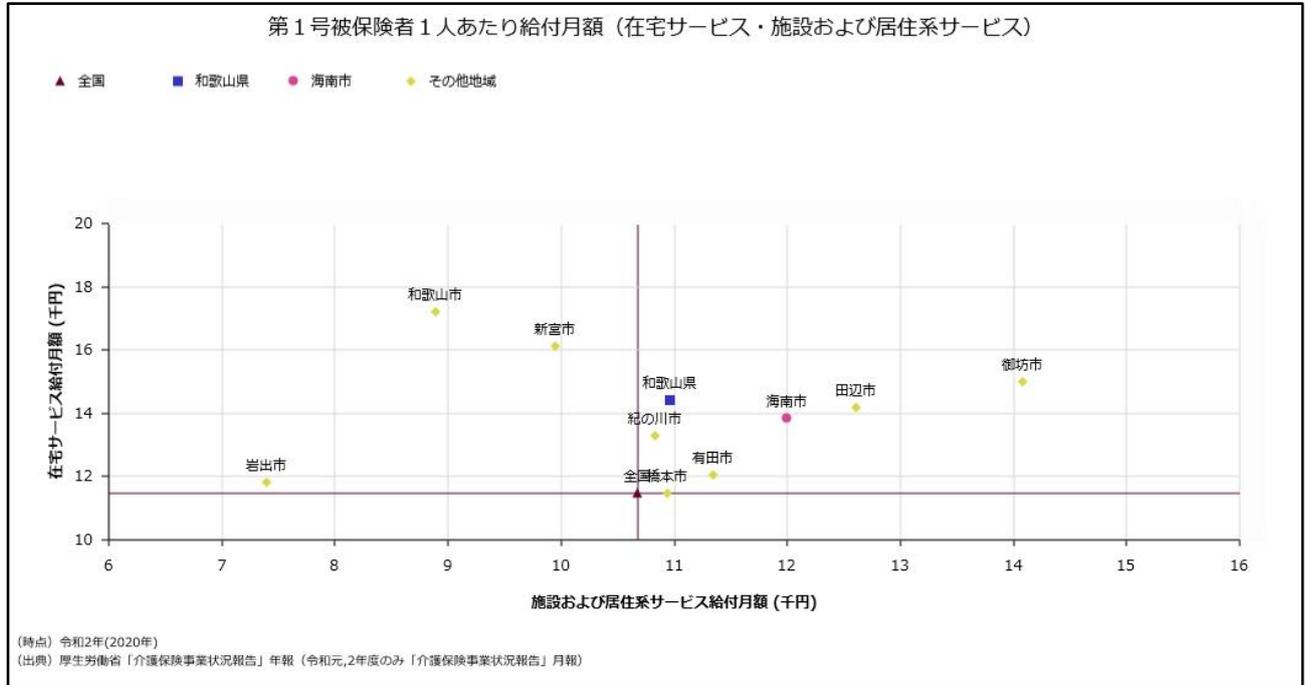


在宅サービス受給率は、全国の割合を上回っており、和歌山県の割合は下回っています。県下9市の中では比較的平均値に近い値となっています。



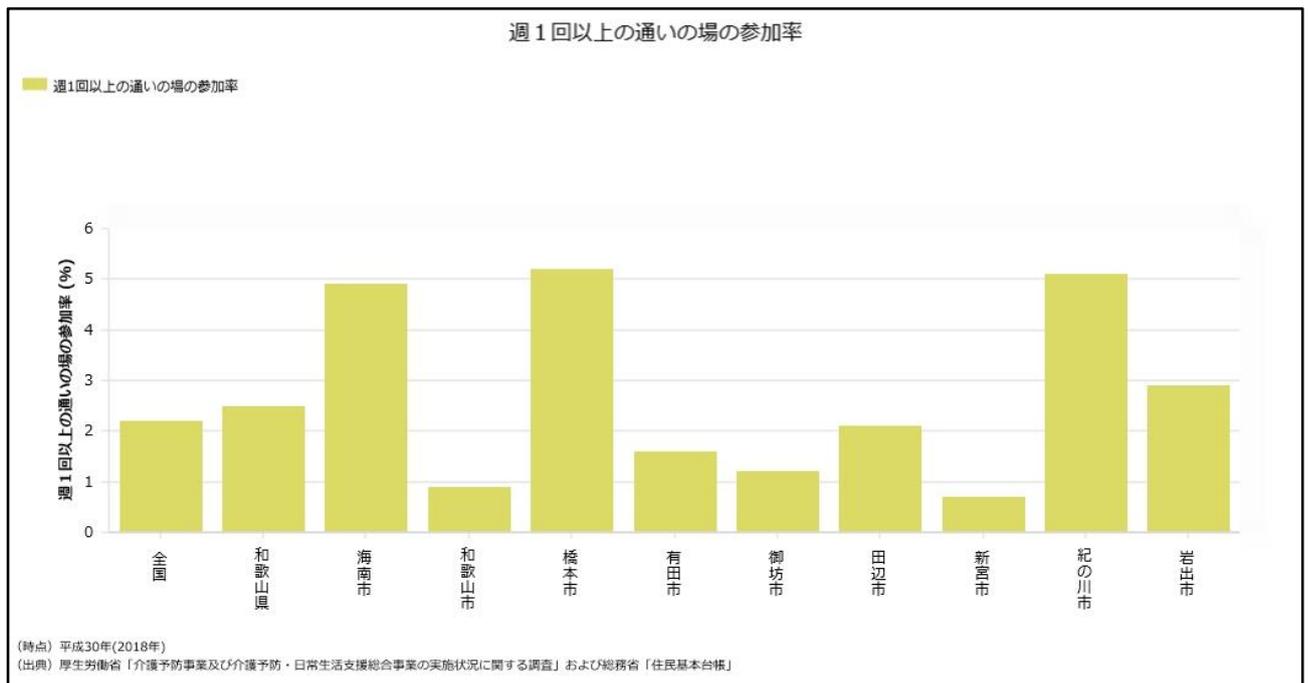
9. 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系列別）

海南市の令和2年の調整済み第1号被保険者1人あたりの給付月額は、在宅サービス及び施設・居住系サービスともに、全国の平均を上回っています。



10. 週1回以上の通いの場の参加率

海南市の週1回以上の通いの場の参加率は4.9%で、全国の割合2.2%、和歌山県の割合2.5%を上回り、和歌山県下9市では橋本市、紀の川市に次いで3番目に高い値となっています。



11. 海南市の現状分析と要因

全国及び和歌山県の割合と比べ高齢化率が高く、高齢者を含む世帯の割合や高齢者夫婦世帯の割合についても高くなっており、「老老介護」状態に置かれやすい状況にあります。

調整済み認定率は、重度・軽度ともに全国平均並みで、和歌山県下9市の中でも比較的低くなっています。これは、心身の機能低下の予防や、高齢者が心身機能を維持できるように、日常生活に取り入れやすい運動等の教室の開催など、介護予防や健康づくりの取組を積極的に行っており、これらの取組が認定率を下げている一つの要因であると思われます。

施設サービスの受給率は、市内に介護老人保健施設を有していることや、近隣の和歌山市の施設についても地理的に利用しやすい環境にあることから、利用率が高いものと思われます。

居住系サービスについては、市内に（地域密着型）特定施設入居者生活介護がないことから、利用率が低くなっていると思われます。

在宅サービスについては、和歌山県が全国平均を上回っていることから、海南市だけの要因ではなく、少子高齢化など和歌山県の地域的な要因が大きいものと思われます。